

ごあいさつ



皆様には、平素より私ども「熊谷商工信用組合(くましん)」に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当組合は、創業以来70年余に亘り、埼玉県北地域のコミュニティバンクとして地域の皆様と共に歩み、今日の経営基盤を築いて参りました。より多くの皆様に当組合の経営内容や営業実績等をご覧頂き、「くましん」をより一層ご理解頂けるよう、今年度もディスクロージャー誌を作成致しました。

私も第72期通常総代会にて理事長に就任し、2年が経ちました。その間、有価証券の運用収益に依存しない、貸出金利息収入や手数料等の本業収益だけで人件費等の経費を賄える、自立可能な財務体質の改善に取り組んでまいりましたが、令和7年度決算でようやく本業収支をプラスにすることができました。しかしまだまだ十分な改善ができたとは言えません。今後も更なる収益力の強化に取り組み、信頼される地域金融機関として地域に根ざし、金融を通して地域の発展に貢献していきたいと考えていますので、皆さま方の変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和8年度の我が国経済は、物価上昇の影響を受けながらも、企業収益や設備投資、継続的な賃上げの動きに支えられ、全体としては緩やかな回復を続けております。しかし一方で中東情勢の影響を受け、エネルギー価格や原材料の高騰等、先行きの不透明感はなお残っています。また金融面では、日本銀行によるマイナス金利解除とその後の利上げにより、長く続いた超低金利から「金利のある環境」へと移行しつつあり、預金金利や貸出金利の動きが、家計や事業者の皆さまの資金繰りに以前よりも増して影響を与える局面となっています。このような状況下のもと、当組合は「地域への貢献」「お客様第一主義」を経営理念とし、今年度も地域金融機関として積極的に地元事業者の支援に取り組んでまいります。

令和7年度決算につきましては、貸出金残高が567百万円増加、平残も前期比1,071百万円増加したことにより、貸出金利息収入は1,164百万円と前期比109百万円の増加となりました。またコア業務純益305百万円、最終的な当期純利益は218百万円の利益を確保することができました。

今後もくましんは、組合員の皆さまお一人おひとりの声に耳を傾け、地域経済の持続的な発展と、そこに暮らす皆さまの夢の実現を金融面から力強く支えていけるよう、全役職員が一丸となり取り組んでまいりますので、引き続きのご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

熊谷商工信用組合 理事長 **石川和彦**

(写真撮影 有限会社CUES 野澤雅史氏)